



## 「ダム再生」の推進

山 田 邦 博\*

皆様には、日頃から水管理・国土保全局の所管行政、とりわけダム行政の推進に当たりまして、格別のご支援とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

近年、全国各地で水害が頻発、激甚化しており、本年も平成29年7月九州北部豪雨等の水害により、各地で大きな被害が発生しましたが、今般の水害においてもダムは重要な役割を果たしました。例えば、平成29年7月5日から防災操作を行った寺内ダム（朝倉市）では、昭和53年の管理開始以降最大の流入量（約888m<sup>3</sup>/s）を観測しましたが、流入する水量の一部をダムに貯めることにより、ダム下流へ流す水量を最大で約99%低減しました。これにより、ダム下流の金丸橋水位観測所地点では、河川の水位を約3.38m低減させる効果があったと推測されます。また、ダム貯水池で大量の流木を捕捉することにより、下流への被害が軽減されたと考えられます。

このように、気候変動による外力の増大に対しては、長い区間にわたる河道改修には制約が多い中で、上流で洪水を貯留し、下流の河道への流下を抑制することが有効です。ダムは、運用の変更や施設の改良によって、外力の増大に的確に対応する可能性を有しています。

また、我が国の厳しい財政状況や生産年齢人口の減少などを踏まえると、トータルコストを縮減しつつ、既存ストックを有効活用することが求められます。これまで、治水・利水の課題に対処するため、流域の特性に応じてダムを整備してきましたが、ダムの堤体は、適切に施工、維持管理されているものであれば、半永久的に健全であることが期待できることから、既設ダムを長期にわたって有効に、かつ持続的に活用を図ることが重要です。このため、国土交通省では、流域の特性や課題に応じ、ソフト・ハード対策の両面から、既設ダムの長寿命化、効率的かつ高度なダム機能の維持、治水・利水・環境機能の回復・向上、ダム再生技術の海外展開、ダムツーリズム等の推進による地域振興への寄与など、既設ダムを有効活用する「ダム再生」の推進に取り組んでいます。

全国の国土交通省所管ダムでは、既に弾力的な運用やダム堤体のかさ上げなどを実施してきており、ダムの有効活用の実施事例が積み重ねられ、知見が蓄積されつつあります。既設ダムの有効活用は、利水容量を洪水調節に活用するなどの運用改善による新たな効果の発揮、堤体のわずかなかさ上げに

\* 国土交通省 水管理・国土保全局長

よる大幅な貯水容量の増加、短時間で経済的に完成させることによる効果の早期発現など、様々な特長を有しています。一方、大水深での大口径の堤体削孔やレーダ雨量計の高性能化など、既設ダムの有効活用を支える各種技術も進展していきます。

これまでも、社会資本整備審議会や関係学会等から、気候変動への適応やダムの有効活用の推進等に関して、様々な答申、提言がなされており、国土交通省では社会全体の生産性向上につながるストック効果の高い社会資本の整備・活用等を加速する「生産性革命プロジェクト」の一つとして「ダム再生～地域経済を支える利水・治水能力の早期向上～」を選定しています。

以上のような、近年における厳しい財政制約等の社会情勢、洪水・渇水被害の頻発や気候変動の影響の顕在化、既設ダムの有効活用の様々な特長やこれまでの事例の積み重ねによる知見の蓄積、これを支える各種技術の進展等を踏まえれば、ソフト・ハード対策の両面から既設ダムを有効活用することの重要性はますます高まっています。

平成29年6月には、ダム再生の取組をより一層推進する方策を示す「ダム再生ビジョン」を策定しました。策定に当たっては、有識者からなる「ダム再生ビジョン検討会」を3回にわたって開催するとともに、関係機関から意見を聴取しました。本ビジョンでは、ダムの長寿命化、施設能力の最大発揮のための柔軟で信頼性のある運用、高機能化のための施設改良など、既設ダムの有効活用を加速するための方策をとりまとめています。これらの方策のうち、操作のルール化に向けた総点検、施設改良によりダム再生を推進する調査、都道府県管理ダムの再開発を国や水資源機構が代行する制度の創設等についてはすでに実行に移しています。また、雨竜川ダム再生事業、矢作ダム再生事業、早明浦ダム再生事業の3つのダム再生事業に加えて、都道府県が実施するダム再生計画の作成について、堰堤改良事業の交付対象に追加する「ダム再生計画策定事業」の創設を平成30年度新規要求しました。

今後とも、本ビジョンにおける取組を更に具現化し、ダム再生をより一層推進することにより、頻発する洪水・渇水の被害軽減、再生可能エネルギーの積極的導入等の国内外の幅広い命題に将来にわたり対処してまいります。

近年、雨の降り方が新たなステージを迎えているところですが、これに対応するため、河川行政もまた新たな対策に取り組んでいます。皆様のご支援をいただきながら、ダム再生をはじめとする様々な取組を進めていきたいと考えています。引き続きのご支援とご協力を心からお願い申し上げます。